

04/30 | 05/01

映画監督 三隅研次特集

2016年04月30日(土)・05月01日(日)

「座頭市」や「眠狂四郎」シリーズなどで知られる映画監督・三隅研次(1921-1975)は、時代劇に大胆な表現を導入し、極限的な状況における愛と死を描き続けることによって戦後の日本映画に新風を送りこんだ。その研ぎ澄まされた画面設計やスピーディーな語り口は、衰退を見せ始めた撮影所体制下において時代劇の新たな可能性を示し、現在もなお新鮮な驚きを我々に与え続けている。今回は、NFCで好評を博した上映企画の中から、三隅の劇映画の代表作と、テレビドラマ「必殺」シリーズを紹介する。

04月30日(土) 14:00-15:39

婦系図 [ニュープリント]

99分 | 35mm | カラー

1962(大映京都) 監 | 三隅研次 原 | 泉鏡花
脚 | 依田義賢 補 | 武田千吉郎 美 | 内藤昭 音 | 伊福部昭
出 | 市川雷蔵、万里昌代、船越英二、三條雅也、水戸光子、木暮実千代、千田是也、片山明彦、伊達三郎、石黒達也、藤原礼子、近江輝子



婦系図

身分違いの恋を綴った「婦系図」の5度目の映画化。「グラマー女優」として活躍していた万里昌代は、本作のお篤役の好演によって新派/時代劇女優としての賞賛を開花させた。また本作は三隅が依田義賢と初めて組んだ作品でもあり、2人は以後も女性映画の名作を生み出していく。

04月30日(土) 16:00-17:29

桜の代紋 [ニュープリント]

89分 | 35mm | カラー

1973(徳プロ) 監 | 三隅研次 原・出 | 若山富三郎
脚 | 石松愛弘 補 | 森田富士郎 美 | 下石坂成典 音 | 村井邦彦
出 | 松尾嘉代、関口宏、渡辺文雄、大滝秀治、小林昭二、大木実、石橋蓮司、真山知子、東三千



必殺仕掛人 秋風二人旅

関西一の暴力団の犯罪をベテラン刑事(若山)が追及するが、関係者は次々と消され、家族にも魔手が伸びる…。大阪の街を鋭利に切り撮った森田富士郎ら元大映京都のスタッフと、若山富三郎の持ち味と勝プロの自由度を存分に活かした実験的な映像表現に満ちた、三隅後年の代表作。

05月01日(日) 14:00-15:34

必殺仕掛人 地獄花 [ニュープリント]

47分 | 16mm | カラー

1973(松竹=朝日放送) 監 | 三隅研次 原 | 池波正太郎
脚 | 安倍徹郎 補 | 石原興 美 | 川村鬼世志 音 | 平尾昌晃
出 | 緒形拳、田村高廣、金井由美、山村聡、津坂匡章、浮田左武郎、外山高士、波田久夫、木下サヨ子、太田優子
解 | 睦五郎

シリーズ第21話。O・ヘンリーの「賢者の贈り物」を下敷きに、貧窮にあえぐ浪人・神谷兵十郎(田村)と妻しず(金井)のすれ違いを残酷に描く。池波正太郎に師事した安倍徹郎は、「必殺」シリーズをはじめ、池波作品の代表的脚本家として知られる。

必殺仕掛人 秋風二人旅 [ニュープリント]

47分 | 16mm | カラー

1972(松竹=朝日放送) 監 | 三隅研次 原 | 池波正太郎
脚 | 安倍徹郎 補 | 石原興 美 | 川村鬼世志 音 | 平尾昌晃
出 | 緒形拳、天知茂、小林昭二、林与一、原健策、北真知史朗、市川小金吾、伴勇太郎、西崎健、沢田トモ、芦沢孝子
解 | 睦五郎

シリーズ第12話。上方での仕事を受けた梅安は彦造(小林)と京に向かうが、旅の侍(天知)を見た彦造は妻子の仇と血相を変え、討とうとする。天知茂が対照的な兄弟の2役をさすのが貫録で演じ分けている。



必殺仕掛人

05月01日(日) 15:40-16:30

しげる 石原興氏アフタートーク

(聞き手 | 畠田美香 フィルムセンター主任研究員)

上映後「必殺」シリーズにカメラマンとして関わった石原興監督に当時のお話を伺います。



石原興氏



MoMAK

FILMS

07/15 | 07/16

キューバ映画ポスター展特集

2016年07月15日(金)・16日(土)

キューバは1959年の革命以降、国立の映画芸術産業庁(ICAIC)を拠点に次々と先鋭的な映画を送り出してきた「小さな映画大国」。今回は展覧会「キューバの映画ポスター」の開催に合わせて、1960-70年代の重要作から4作品をピックアップ。

同日開催 「キューバの映画ポスター」展関連 クラブイベント サルサナイト@MoMAK

DJ ロドリゴ西
日時 | 7月16日(土) 18:00-21:00
会場 | 京都国立近代美術館 1階エントランスホール
主催 | 京都国立近代美術館、NPO法人 日本ラテン文化振興協会
入場料金 | 1,000円(当日券のみ)

夜間上映 15日(金) 18:00-20:40

ルシア LUCIA

160分 | 35mm | 白黒

1968(ICAIC) 監・脚 | ウンベルト・ソラス 脚 | フリオ・ガルシア・エスピノーサ、ネルソン・ロドリゲス 補 | ホルヘ・エレラ 美 | ベドロ・ガルシア・エスピノーサ 音 | レオ・ブローウエル
出 | ラケル・レプエルタ、エスリンダ・ヌニェス、アデーラ・レグラ、エドゥアルド・モウレ、ラモン・プリトほか

スペイン植民地だった1895年、アメリカ支配が強まる1932年、そして革命の1960年代という三つの時代を生きた三人の“ルシア”を通して、キューバ女性の愛と自立を謳ったオムニバス巨篇。26歳のソラスによる時に荒々しく時にロマンティックな演出が鮮烈。*ポスター展 出品作品

16日(土) 14:00-15:37

はじめて映画を見た日 POR PRIMERA VEZ

10分 | 35mm | 白黒

1967(ICAIC) 監・脚 | オクタビオ・コルタサル 補 | ホセ・ロベス 音 | ラウル・ゴメス

東部山岳地方を訪れた巡回映写班を追った記録で、チャップリンに見入る人々の表情が印象的。テレビ出身で、プラハで学んだコルタサルの帰国第1回作品。

*上映作品はすべて日本語字幕

16日(土) 14:00-15:37

レボルシオン 革命の物語 HISTORIAS DE LA REVOLUCIÓN

87分 | 35mm | 白黒

1960(ICAIC) 監・脚 | トマス・グティエレス・アレア 脚 | ホセ・エルナンデス、ウンベルト・アレナル 補 | オテロ・マルテリ、セルヒオ・ベバル 音 | カルロス・フアリーニャス、レオ・ブローウエルほか
出 | エドゥアルド・モウレ、リアン・ジェレーナほか

革命軍の戦闘を「負傷者」「反乱者たち」「サンタ・クララの戦い」の三挿話にまとめた硬質のセミ・ドキュメントで、新政権誕生後初の長篇。ローマの映画実験センターでネオレアリズモ映画に学んだアレアたちは『戦火のかなた』の名撮影監督マルテリを招いた(第1・2話)。

16日(土) 15:50-17:42

天国の晩餐 LOS SOBREVIVIENTES

112分 | 35mm | カラー

1978(ICAIC) 監・脚 | トマス・グティエレス・アレア 脚 | アントニオ・ベニテス・ロホ、コンスタンテ・ディエゴ、マリア・エウヘニア・アヤ 補 | マリオ・ガルシア・ホヤほか 美 | ホセ・M・ビラ 音 | レオ・ブローウエル
出 | エンリケ・サンティエス・テバン、アナ・ビーニャほか

革命期にキューバに留まった歴史あるオロスコー族。闇物資を手にし、アメリカの侵攻事件にも喜ぶ当主だが、革命政権は倒れない。一家の生活は苦しくなり、召使やお抱えの農民も逃げてゆく。世の中から隔絶した豪邸を舞台に、ブニュエル作品を思わせるブラックな感覚に満ちた作品。



「ルシア」ポスター



NFC所蔵作品選集

MoMAK

2016.04—07